（別紙５）

公表　児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス　Colorful Kids First

公表日　2025 年 3 月 20 日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		・1階のスタジオを利用したりしている	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	1	・適切である	・余裕を持って支援が出来るようにしていく
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8		・指導室はバリアフリーになっている ・物が多くなく、分かりやすい トイレが広く、スロープになっており、 段差がない	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		・朝、夕に清掃をしており、玩具や室内の 消毒を行っている ・玩具の消毒、毎日の清掃	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	8		・活動や宿題に集中が出来るよう、 パーテーションで仕切りを作っている ・仕切りを作って、個別に対応が出来る ようにしている	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8		・朝礼または終礼を行い、その都度 話し合い、業務改善に繋げている	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1		・自己評価表に基づいて改善をしていく
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1	・朝礼または終礼を行い、その都度 話し合い、業務改善に繋げている	・職員間で密に話し合いをし、今後も 改善に繋げていく
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	6		・自己評価表に基づいて改善をしていく ・保護者からのヒヤリングをを行い、 業務の見直しをするようにしていく
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		・1ヶ月に1回の研修を行っている	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	8		・5領域に準じて作成し、HPにて 公表している	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8			・今後も子どもや保護者のニーズや課題を 分析し、支援計画書を作成していく
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		・毎月カンファレンスを行っている	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		・毎月カンファレンスを行っている	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		・保護者への聞き取りをし、子どもの 特性を考えた上で支援内容を設定を している	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		・毎月のプログラムを話し合いで立案を している ・考えが偏らないよう、チームで考え 様々な立案が出来るようにしている	

提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		・職員間での話し合いを行い、固定化しないように工夫している ・1ヶ月のプログラムを組み、様々な活動に参加出来るよう工夫している	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8		・子どもの特性を把握した上で、支援を行い支援計画書を作成している	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		・職員間での話し合いの時間を設け、チームで連携をし、支援を行っている ・事前に打ち合わせを行い、個々に合った支援を心掛けている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	8		・毎日、出来事など報告し振り返りを行っている ・終礼を行っている	・今後も毎日を振り返り、次の支援に繋げていけるようにしていく
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		・日報やお帳面に個々の様子を記録をしている	・全指導員が作成できるように研修を行っていく
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		・送迎時に話をしたり、時間を設けてモニタリングを行っている	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		・児童発達支援管理責任者と知識があり、子どもの状況を理解した職員がケース会議に参画している	・全指導員が責任を持ち、連携を取り参画で出来るようにしていく
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8		・委託医との連携	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8		・送迎時に担任の先生と情報交換をしたりし、情報共有を行っている	・クラス変更や進学に向けての情報共有も視野に入れておく
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	6	・昨年度の5月に開所したばかりなので、現時点での移行児童が居ない ・年度末辺りから、就学に向けてのケース会議が入っている	・クラス変更や進学に向けての情報共有も視野に入れておく
	28	（28～30は、センターのみ回答） 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	（31は、事業所のみ回答） 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	7	1	・ケース会議等で情報共有をしている ・機会があれば研修に参加をしている ・その都度連絡をし、助言を求めている	・今後も機会を増やしていき、様々な現場での研修を受けるようにしていく
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	7	1	・沖縄や韓国でのキャンププログラムを行っている	・機会を設ける為の時間確保が出来ていないので、今後を視野に入れ、今までよりも機会を増やしていけるようにしていく
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		・情報を密に共有し、指導員間でも支援についての話し合いを行っている ・送迎時にフィードバックを行っている	・今後も密に情報共有が出来るように心掛けていく
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	1		・更に指導員間での共有を密に行い、支援を行っていく
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		・契約時に説明を行っている ・契約の際、規約等の説明を丁寧に行っている	・分かりやすい説明が出来るように内容をしっかりと把握し、説明が出来るようにしていく

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	8		・事前に保護者のニーズや子どもの特性の聞き取りを行っている ・事前に保護者の意向を聞いた上で作成されている	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8			・分かりやすい説明が出来るように内容をしっかりと把握し、説明が出来るようにしていく
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		・その都度、直ぐに対応し、面談や話をする機会を設けている ・必要な時は面談を行い、相談に乗っている	・今後も直ぐに対応を行い、支援が出来るようにしていく
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	7		・出来ていないので、今後は保護者会など開催し、交流の場を設けるようにしていく
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		・迅速に適切な対応を行っている	・今後も迅速な対応を行っていくようにしていく
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8		・毎月のカレンダーを配布をし、HPにも掲載している	・様々な情報も共有していく
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		・鍵付きの書類棚に保管している	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		・子どもたちにはPECSなどを用いて意思疎通を図っている	・保護者への対応は今後、必要な際に筆談などを用いて対応を行っていく
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	7		・機会を設ける為の時間確保が出来ていないので、今後を視野に入れ、今までよりも機会を増やしていけるようにしていく
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		・マニュアルの策定は出来ており、2ヶ月に1回訓練を行っている	・全指導員がマニュアルをきちんと把握し、素早い判断、行動が出来るようにしていく ・保護者にもきちんと周知をしていくようにする
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		・BCPの策定は出来ており、2ヶ月に1回訓練を行っている	・訓練を実施し、年に1回見直しをしている ・保護者にもきちんと周知をしていくようにする
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8		・緊急連絡票に記載事項があり、保護者の聞き取りも行っている ・見学時、契約の際に聞き取りを行っている	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8		・緊急連絡票に記載事項があり、保護者の聞き取りも行っている ・アレルギー除去対応のおやつの提供	・食事提供の際は、細心の注意を払い、確認をした上で提供するようにしていく
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	8			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		・ヒヤリハット記録を作成し、会議での共有を行っている ・再発防止に向けて話し合いを行っている	・今後も事案等については、その都度話し合うようにしていく
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		・研修を行っている ・研修の年間予定に組み込まれている ・指針にて策定されている	・今後も事案等については、その都度話し合うようにしていく
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8		・研修を行っている ・研修の年間予定に組み込まれている ・指針にて策定されている	